

<報告書イメージ>

熊本県ハンセン病問題啓発推進委員会報告書

令和2年（2020年）〇月〇日

熊本県ハンセン病問題啓発推進委員会

熊本県ハンセン病問題啓発推進委員会報告書(案)

目次

I	はじめに
II	熊本県ハンセン病問題啓発推進委員会について
1	熊本県ハンセン病問題啓発推進委員会設置の趣旨及び報告書作成の経緯
2	委員会の目的及び活動状況
(1)	設置目的
(2)	協議(検討)事項
(3)	これまでの開催状況
III	ハンセン病回復者等を取り巻く現状と課題等
1	ハンセン病問題への関心
2	ハンセン病回復者の高齢化
3	社会生活に対する不安
IV	熊本県のこれまでの取組に対する評価・提言
1	これまでの取組状況
2	課題
3	今後に向けて
V	各界に求める今後の啓発の進め方等の提案
1	医学界
(1)	中間報告の概要
①	医学教育の現状について
②	熊本大学の取組について
③	終末期を迎える退所者の受診に関する課題
④	ハンセン病医学夏期大学講座
⑤	若い医学系講師の啓発活動
(2)	医学界に対する提案
①	医療従事者に対する啓発の必要性
②	パターナリズムからの脱却
③	患者と医師の関係性
④	医療だけで解決できない問題
⑤	県民への啓発の必要性
2	福祉界
(1)	中間報告の概要
○	社会福祉士会等の取組
(2)	福祉界に対する提案
①	専門家の必要性
②	介護施設の受入
③	入所者の権利
3	法曹界
(1)	中間報告の概要
①	平成28年(2016年)における法曹界のハンセン病に関する動き
②	弁護士会の取組
③	報告後(平成28年(2016年)9月以降)の法曹界のハンセン病に関する動き
④	報告後(平成28年(2016年)9月以降)の弁護士会の取組
(2)	法曹界に対する提案
4	マスコミ
(1)	中間報告の概要
○	新聞報道の取組
(2)	マスコミに対する提案

5 宗教界
(1) 中間報告の概要	
① 宗教における取組	
(2) 宗教界に対する提案	
VI これからの県民への啓発意識の向上のための取組の方向性
1 共生社会の実現に向けて
2 教育活動
3 語り部とボランティア対策
(1) 語り部	
① 映像等の記録	
② 伝承者の育成等	
(2) ボランティアガイド	
4 入所者の減少と退所者の相対的増加
5 入所者がなくなった後の問題
6 資料の保存
VII 委員会の在り方について
1 取組の成果、検証
2 今後の進め方

■報告書内の表記について

①「癩」「らい」「ハンセン病」

「癩予防法」等の法律用語、「らい菌」等の医学用語、歴史的用語、関係者の発言・証言、及び文献の引用内に使用されている「癩」「らい」は、あえて原文及び発言・証言のまま掲載しています。それ以外の病名を指す名称については、「ハンセン病」を採用しています。

②ハンセン病回復者

かつて、ハンセン病になり、治った人（「入所者」「退所者」の総称）については、「ハンセン病回復者」と表記しています。

③ハンセン病回復者等

ハンセン病回復者及びその御家族を総称する場合「ハンセン病回復者等」と表記しています。

熊本県

ハンセン病問題啓発フォーラム 2020

—「家族の絆～ハンセン病回復者とその家族」—

偏見・差別を恐れ、病歴を秘匿し、生きづらさを抱えて生活しているハンセン病回復者とその家族が、病歴を明かしても安心して地域で暮らせる、ともに生きる社会のあり方を考える。

令和2年

1月11日
(土)

時間 14時00分～16時10分

入場無料

場所 熊本市男女共同参画センターはあもにい
ハーモニーホール

(熊本市中央区黒髪3丁目3番10号 裏面地図あり)
※駐車場については、はあもにいホームページでご確認ください。

定員 300名

プログラム

- 1 プロローグ (14:00～14:15)
菊池恵楓園ミニ朗読会 ～ 郷愁を胸に ～
アナウンサー 政木 ゆか さん
ギタリスト 真野 秀慈 さん
- 2 開会 (14:20～14:25)
主催者あいさつ 熊本県知事 (予定)
- 3 ビデオ上映 (14:25～14:40)
ハンセン病問題教育普及ビデオ
「壁をこえて」上映
- 4 講演 (14:40～16:10)
「閉じ込められた生命
～ハンセン病回復者と家族の経験から」
ハンセン病家族訴訟原告団副団長
ファン グァンナム
黄 光男 さん
- 5 閉会 (16:10)



「母子」 矢野 悟 1995年 油彩
一般社団法人金陽会所蔵

主催 熊本県

お問合せ先 : 健康づくり推進課 電話:096-333-2210

ハンセン病医療・福祉研修会

ハンセン病回復者の方々は、間違った知識を根付かせた強制隔離政策により、長年人権侵害を受けてこられました。

現在は高齢になられ、療養所や退所して社会の中でそれぞれ静かに生活されています。しかし、今でもほとんどの方が、過去の辛い経験からハンセン病療養所以外の医療施設・高齢者施設利用をためらわれます。

そこで、医療・福祉分野の従事者・経営者等に、ハンセン病及びハンセン病問題に対する理解を深めていただき、退所者が安心して医療・福祉サービスを受けることができる社会の構築を目指します。

【申込対象者】

- 医療・看護関係者(医師、歯科医師、看護師 等)
- 福祉・介護関係者(社会福祉士・介護福祉士・ホームヘルパー 等)
- その他(学生、求職者、ボランティア 等) ※応募者多数の場合は抽選を行います。

定員 60人

プログラム

令和元年(2019年)

12/17(火)

13:00~17:15

- ハンセン病問題啓発ビデオ上映
- **現場見学(園内の施設等の見学)**
- 講義

ひまわりの会会長	中 修一 氏
認定社会福祉士	堀端 裕 氏
菊池恵楓園副園長	野上 玲子 氏

【会場】 国立療養所菊池恵楓園「恵楓(けいふう)会館」

(合志市栄3796番地)



アクセス

電鉄バス: 再春医療センター前 下車

熊本電鉄: 再春医療センター前 下車

※お車でのお越しの方は、裏面の園内図を参照ください。また、園内徐行運転に御協力をお願いします。

【お申込み】

お申し込みは郵送・FAX・メールで承ります。裏面の申込様式をお使いください。メールの方は裏面の内容を記載して送信してください。

※申込締切日: 11/29(金)

【お申込み・お問合せ先】

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号 熊本県庁新館4階
健康福祉部 健康局 健康づくり推進課

電話:096-333-2210

FAX:096-383-0498

メール:kenkousuisin@pref.kumamoto.lg.jp